

駿東新聞

第35号
H22. 1月



発行人。医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町6-1
TEL 055-922-8855



乗った。そんなことは知らず、牛が神様の御座に近付いてみると、まだ誰も来ていない。

我こそ一番と喜んで待つうちに門が開いた。とたんに牛の背中からねずみが飛び降り、ちろちろと走って一番になってしまった。それで牛は二番、それから虎、兎、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順で着いた。猫は一日遅れで行、たものだから番外で仲間に入れなかった。それでねずみを恨んで、今が今でもねずみを追い回すのだそう。

みなさんはこの話を知っていましたか？ おもしろいでおよ。

寅干支の縁起話は「虎は毛皮の美しい模様から前身は夜空に輝く星の特徴は「決断力と才知」。

私も寅の特徴のように決断力と才知を持ち、輝ける一年にしたいです。

年男編

新年明けましておめでとうございます。放射線技師の知念です。今年が虎年ということで、年男の私が新年1発目の記事を書かせて頂くことになりました。早いもので今年で36歳…。今回もう一人記事を書いた相手の笹原さんは24歳。気がつくし一回りも下の子と一緒に仕事をやる年齢になってしまい、ただただ驚きと時の早さを驚感します。

さて年男だからというのではないですが、今年色々な事にチャレンジする年になりそうです。現在、趣味でやっている草野球が、昨年三島の連盟(Cクラス)で念願の初優勝をすることができました。それに伴い、今年度から1ランク上のクラス(Bクラス)に昇格する予定で、今年はいっそう厳しい戦いが予想されますが楽しんで、1試合でも多く、勝てるよう頑張りたいです。

仕事の面でも、今年新しい事にチャレンジすることになるとは思いますが、気負わず、地に足を着けて、しっかりやっていきたいです。新しいことにチャレンジする時は、難問も出てくることは思いますが、怯まず強い気持ちで立ち向かっていけたらなと思います。



強い虎のように



新年明けましておめでとうございます

明けましておめでとうございます。今年も当院・フィットネス・デイケアを、よろしくお願いたします。そして駿東新聞も、みなさんに楽しく読んでいただけるよう頑張りますので、ご愛読願います。さて、今年が寅年ですね。昭和61年生まれのお付笹原、そう私年女なんです。そして、昭和49年生まれの放射線技師知念さんは年男です。新年初めの記事は年女・年男2人のお話です。どうぞ

年女・年男 大いに語る



年女編

みなさん、こんにちは。受付の笹原です。

みなさんは「どうして十二支はあの動物なの？」と思ったことありませんか？日本で語り継がれている民話を紹介します。

昔々の大昔のある年の暮れのこと、神様が動物たちにお触れを出したそう。元日の朝、新年の挨拶に出かけて来い。一番早く来た者から十二番目の者までは、順にそれぞれ一年の間、動物の大將にしてやろう。

動物たちは、おらが一番とて、めいめいが頑張って元日が来るのを待ておた。ところが猫は神様のところに行かぬのを忘れてしまったので、ねずみに訊くと、ねずみはわざと一日遅れの日を教えてやった。猫はねずみが言うのを聞かずに喜んで帰っていったと。

さて元日になると、牛は「おらは歩くのが遅いけど、一足早く出かけるべ」と夜のうちから支度をし、まだ暗いのに出立した。牛小屋の天井でこれを見ていたねずみは、ほんとうの牛の背中に飛び